

# 図書だより

## My Favorite Books

2018年 11月号  
三島高等学校 図書委員会  
(105HR 高橋ひかり・定岡愛奈)



### 今回は、谷脇 翔 先生です！

＝簡単な自己紹介をお願いします＝

松山市で生まれ育ちました。高校時代は硬式野球部に所属していて、勉強と部活動の両立に苦戦しながらも必死に白球を追いかける毎日を過ごしました。大学卒業後に数学科の教員として初任校の三崎高校に4年間勤めました。まさか、三崎高校で一緒に勤務した先生（S水先生・O崎先生）とまた勤務することになるとは夢にも思っていませんでした(笑)。現在は105HRの担任と野球部副顧問を務めており、もうすっかり三島高校に慣れてきました。

＝高校時代(大学時代)に読んだ本を教えてください＝

高校時代は毎日朝読書が10分あり、読むのは遅いですが少しずつ読んでいました。その習慣もあって、今も時間があれば本を読むようになりました。高校時代は「告白」(湊かなえ 著)、「半落ち」(横山秀夫 著)、「ゲームの名は誘拐」(東野圭吾 著)、「十津川警部『家族』」(西村京太郎 著)などの推理小説を読みました。

高校時代に感銘を受けた本は2冊あって、1冊目が「博士の愛した数式」(小川洋子 著)です。悲しくも暖かい愛の物語で、すごく切なくなりました。また、物語の中でコミュニケーションのツールとして使っていた「数学」の面白さや奥深さを知ることができ、より数学が好きになりました。2冊目は「甲子園への遺言 ～伝説の打撃コーチ高島導宏の生涯～」(門田隆将 著)です。高島導宏さんは元プロ野球選手で引退後に打撃コーチを務め、最後は高校教師を務めた方です。この方の「生き方」や「考え方」は本当に素晴らしくカッコいいと思いました。

＝みなさんに読んでほしい本を教えてください＝

- ・「博士の愛した数式」(小川洋子 著)…数学が好きか嫌いかに関わらず読むことができると思います。「数学」の美しさにみなさんも触れてください。
- ・「杉原千畝 ～情報に賭けた外交官～」(白石仁章 著)…第二次世界大戦下、ユダヤ難民に政府の命令に背いて日本のヴィザを発給し、六千人の命を救った杉原千畝さんの素顔をより深く知る作品です。(映画化もされています。高橋雅彦先生が全校朝礼の際に話されていたのがこの方です。)
- ・「10代にしておきたい17のこと」(本田健 著)…「人生の原点は10代にあります！」という本の帯に惹かれ買った本で、最近もう一度読みました。あらゆる可能性に満ちたみなさんは、どんな大人になり、どんな人生を歩みたいですか？
- ・「何のために『学ぶ』のか」(ちくまプリマー新書編集部 編)…7人の著者がそれぞれの視点から「学ぶこと」について中学生に講義したものをまとめた本です。「なぜ学ぶのか？」考えてみてください。

＝三高生に一言！＝

読書のよさは、本を開けばいつでもどこでも何度でも、学んだり、知識を得たり、考えたりすることができる場所にあると思います。時間があるときに本屋や図書館にぜひ行ってみてください。きっと、読んでみたいなどと思える本と出会えると思います。その出会いがこれからの人生の何かきっかけになるかもしれません。

谷脇先生、ご協力ありがとうございました！



### 「ぼくは風船爆弾」 著者 高橋光子

「いのちの輝き文庫」を毎年寄贈して下さっている「NPO法人にっこりーの」様より3冊いただきました。

第二次世界大戦中、四国中央市の女学生たちが実際に作った「風船爆弾」のお話です。この本を読んで、戦争の恐ろしさ、平和の大切さを実感してほしいと思います。



#### 識者の声：小林玲子(弁護士)

「えっ！フウセンバ・ク・ダ・ン！何ですか、それは？」

初めて日本軍の秘密兵器「風船爆弾」のことをお聞きした時、思わず絶句してしまいました。

「風船」は、フンワリと空に浮かぶ愛らしい物。子供たちの笑顔がよく似合う物だ。一方「爆弾」は、人を殺傷する莫大な破壊力を持つ危険物だ。これが一緒に合わさって、太平洋戦争中に、現実兵器として製造され、使用されていたというのだ。ともかく、本になったらぜひ、読んでみたいと思った。その本が、とうとう出版されることになった。「ぼくは風船爆弾」、読み出したら止められない面白さ。そして胸に痛みが残る良い本となった。

#### 識者の声：伊藤滯子(医師・同級生・気球作りの仲間)

高橋光子さんは「蝶の季節」で、突然芥川賞候補作家としてデビューし、私たちに驚かせましたが、女学校時代は完全な理系人間でした。そのリケジョぶりをいかんなく発揮したのが、今回の作品で風船爆弾が飛んでいく仕組みが、読者の興味をひきながらわかりやすく書かれていて、彼女にしか書けないものです。

#### 作者の言葉

戦争体験者の一人としていつか反戦・平和をテーマにした物語を書きたいと念願していました。それが今回、未来を担う若い人たちに読んでもらえる「潮ジュニア文庫」の一冊として世に出ることになりこれ以上の喜びはありません。

### 新着図書

- ・はつ恋 著者 村山由佳
- ・THE LAST GIRL 私を最後にするために 著者 ナディアムラド 訳 吉井智津
- ・英単語の語源図鑑 見るだけで語彙が増える 著者 清水建二
- ・「死」とは何か イエール大学で23年連続の人気講義

著者 ケーガン・シェリー

